でえるい。2021.12.17

华家 年 始 号



🖰 ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟

発

行

〒950-2026 新潟市西区小針南台 3-16 (JR 小針駅前「葡萄の木」)

TEL: 025-378-6181 FAX: 025-230-6680 HP: http://www.sasaeai-coop.com/

E-mail: seikyou-jimukyoku@sasaeai-coop.com ※この会報は組合員様向けに発行しています

組織状況 2021/10/31	
組合員数	1,564 人
出資口数	27,737 🗆
出資金額	138,685 千円

~ 新年(2022年)を迎えて ~ 「どもに 支え合って 生きる社会をめざして」!



理事長 高見 優



この連載は3年半前の本誌64号(2018/8)からスタート。当時のタイトルは今もそのまま使えると思います。組合員・読者の皆さんから感想や意見をいただき、法人運営や事業経営、ものの見方や

考え方、社会のありようについて、共に深めること ができ感謝申し上げます。

個人の考えや一つの組織だけでは常に限界があり、多様な知識・体験に基づく多彩な意見を通して学び合うことにより、より確かな視点が得られます。それでもなお現実には、実践していく中で不十分な点が見つかり改善を余儀なくされること多し、なのですが、やはり大勢で、それも協同で事を進める方が失敗が少ないし、何より楽しい(はず)です。「はず」をカッコ書きしたのは、必ずしもそうでないという人がいるからです。皆さんはどうですか?なお、大勢で共同して事をなすことを「集団創造」と言うことがあり、私はこの言葉が好きです。

表と裏

物事を一面的に捉えたり、他者を決めつけて評価 したりして、よくトラブルになることがあります。 言うこととやることが違う、裏表があるのはよくな いですね。確かに・・・ 最近ニュースで話題になった政治家の「裏金要求?」事件は、まだ真相は不明ですが、裏社会の「常識」というものがあるようですね。裏があるなら、この社会は(そして人間も)、裏と表両方で一つの全体が構成されていることになり、片方だけでは真実は見えないかもしれない。たしかに他人の裏表は見えにくい、いや考えてみると、自分のことすらよく分かってない気がする。判断ミスはもちろん、自信もってやったことでも後日何故あんなことをしたのか・言ってしまったのか後悔先に立たずを繰り返す始末(年を重ねても未熟で恥ずかしい限り)。

ただし公的な立場で権限・責任が伴う以上、慎重な 言動を要求されます。いやまてよ、現代民主主義社会 においては、すべての市民は社会的責任(権利・義務) を有しているから、この社会・国家の一員として責任 があり、やはり慎重な言動が求められるはずだ(企業 も同じく社会的公器であり、市民同様、納税はもちろ ん、社会の安寧に貢献すべきです)。

自己責任の裏返しは、「自分の儲けは自分だけのもの」です。しかし近年まで共有とか総有という概念があり、村などの共同体で慣習として残り、人々の暮らしの中で必要とされる衣食住の糧などは共同で所有し管理されていました。地域社会でみんなのもの・こととして意識され、当たり前のように助け合い・支え合っていました(みんな=公、コモン)。

「私が稼いだお金」も、「公共善も追求するこの社会システムのもとでこそ得られたお金なのだから、貧困者の救済を「慈善」から解放し、公正・正義の視点で捉え直す…」という記述があります。(「Journalism」12/21号・編集後記より)

公務員「農家で兼業」・緊急調査(日本農業新聞)

私たちが毎日食べている食料。日本の農林水産業の生産者が激減しています。農産物等の価格が低迷して収益が少なく生計を維持できない、高齢化などで人手不足になっているから、食料(公共物)の生産を公務員が兼業してはどうかというアイデアだ。エッセンシャルワーカーはすべて、無くてはならない労働だから待遇などは、せめて公務員並みにすべきだ、と言いたい。

農業新聞の調査によると、全国 200 人のアンケート調査で、公務員の生産農家兼業について 9 割が賛成したという (12/8 付け日本農業新聞)。みなさんはどう考えますか。 このまま放置すれば、日本の第一次産業は危機に陥り、農林水産業の自然環境維持や村落・国土保全、大気浄化作用

などの多面的機能が損なわれて、日本の自然や社会 が崩壊していくのではないか。

前記の雑誌の巻頭言「変えられること」に、喜園尚史編集長が次のような言葉を紹介しています。

自分に変えられないものを、受け入れる落ち着きを 変えられるものは、変えていく勇気を この二つを見分ける賢さを――。

これは、「薬物依存者の支援団体で、参加者が声を合わせていた祈りの言葉」だそうです。私たちも、この言葉をかみしめて、自分にできること・できるかもしれないことを見つける賢さとチャレンジしていく勇気を身につけたいと思います。

「ともに 支え合って 生きる社会をめざして」いる、 ささえあい生協のテーマでもあります。

新年も変わらず、よろしくお願い申し上げます。

(ご感想・ご意見をお寄せください:編集部)

